

小林茂さん、原田さん揃って優賞に

茨城県芸術祭映像コンクール

藤来さんには奨励賞

40回を迎えた今年の茨城県芸術祭映像コンクールは、9月30日に締め切られ、県内から29本の応募がありました。

審査会は、10月8日に視聴覚センターで開催。今回から審査員にNHK水戸放送局のチーフカメラマン、岡崎好美さんを迎え、土浦の篠崎修一郎さんと豊田の3人で審査が行われました。

結果は右のとおりとなり、我が会からは、小林茂さん、原田さんが共に優賞に、藤来さんが奨励賞に輝きました。

入賞・入選作品の発表会は、11月6日(日)に県民文化センター小ホールで開催されます。

例年のように、運営への協力

賞	作品題名	作者
特賞	流木が蘇る	小川 浩(日立市)
優賞	ホタルの生息する公園に	小林 茂(ひたちなか市)
優賞	煩悩	原田英一郎(日立市)
奨励賞	神銚が神峰の山を下りるとき	藤来 稔(日立市)
奨励賞	これは何の実	時崎 清(高萩市)
奨励賞	七五三準備Go!	鴨志田清治(ひたちなか市)
奨励賞	天然記念物コウノトリ利根川に飛来	大和田勝男(牛久市)
茨城新聞社賞	さくら二題	鈴木 茂男(土浦市)
入選	潮風に誘われて	佐藤 勝男(日立市)
入選	能面に魅せられて	石川 昭一(水戸市)
入選	うるわしきクロアチア	橋本 義正(土浦市)
入選	やったー・やったー	室岡 知誠(阿見町)
入選	つくばエクスプレスに乗って	寺田 英雄(つくば市)
招待	みねこクラブ	清水 啓志(日立市)

はもちろん、たくさんの方をお誘いのうえ来場されるようお願い

いたします。詳細は、別紙プログラムをご覧ください。

9月例会報告

9月例会は、18日に視聴覚センター研修室で開かれました。

1ヶ月後に迫った撮影会について、下見に行ってくれた滝さんのビデオによる現地報告も加え、最終打合せが行われました。

現地の交通規制にあわないよう、予定より30分早いスタートとなりました。

現在、参加会員数は21人となっています。

続く合評作品は、次の7作品が紹介されました。

古徳沼春景

藤田 カツ子

《作者コメント》編集しなおしてみました。アドバイスをよろしくお願いします。

《ご意見異見》数度にわたる手直して、大変素晴らしい作品になってきました。風の音が気になった。鳥や花の名前のテロップは不要ではないかなど意見がありました。

東北の祭り

小室 政衛



八戸三社大祭、青森ねぶた、弘前ねぶた、秋田竿灯、山形花笠まつり、仙台七夕と6泊7日の撮影行の結果だそうで、楽しく見せていただきました。HVSの腕章が大いに効果があったそうです。

橋幸夫さんと踊る盆ダンス

編集：海老沢、撮影：豊田
・及川・原田・細川



《作者コメント》恒例の吉田音楽記念館事業の、延々5時間半にわたる野外ステージを4台のカメラで撮影したもののうち、一部分を編集したものです。

《ご意見異見》カメラマイクだけなのによく音が入っている。音の編集がうまい。など、音声収録の話が続きました。

私の腕では上出来

小林 茂



《作者コメント》リタイヤ後、趣味に打ち込む人は多い、私もその一人ですが趣味にもいろいろあります。

仏像彫刻を独学で始めて、何とか人に見せられるようになったと言う人の工房で打ち込む姿を追うことができました。

始めは気楽に話しかけて彫り始めましたが完成が近づくにつれ、真剣な表情と完成した満足感に浸っている様子は、趣味に打ち込む人の共通点は同じだと思います。

《ご意見異見》主人公は関西の

方で撮影には半年かかっているそうです。良くしゃべってくれ方で、それがたいへん良く、そのしゃべりにうまく画面を合せていく編集が素晴らしい。

朝の光（島原にて）

原田英一郎



《作者コメント》6月に同窓会で島原に行ったとき、ホテルで撮った朝の風景です。カメラのフードがとれてしまい、手でおさえながら撮りました。その成果はレーションを起こしてしまいましたが、それなりに朝の光の雰囲気をとらえているようにも思います。

《ご意見異見》最初のホテルの場面は要らないのでは。海の風景は幻想的で、気になる画面の曇りも、かえって効果があったようにも思います。

人は、動き、集う！なぜ？

滝 孝光



《作者コメント》JVA愛知大会作品として制作し出品したものです。愛・地球博のパビリオン、イベントなどを除き、群集の動き集いだけをまとめてみま

した。最初から、群集の動き、集いを中心に企画し、撮影しておれば、もっと面白い場面もあったかなと思います。

《ご意見異見》切り口は面白いのですが、確かに映像的には面白い画面がないのが惜しいです。群衆の中に巻き込まれたような動きを強調した画面があると良かったですね。

桐生からくり人形芝居

滝 孝光

《作者コメント》桐生市を訪ねる機会があり、元酒蔵を芝居小屋にした“有隣館”のからくり人形芝居を見学しました。江戸時代に浅草から流れてきた人形芝居の人形を、機織の街桐生の織機のメカニズムを応用し、複雑な動きができる人形に進化させた由です。日立風流物の人形より小型だが、操作が簡単で複雑な動きができることを強調していました。

勉強会は、近づいた「川越撮影会」をどう撮って、どうまとめるか、滝さんを中心に話し合いました。

ひたち映像コンクール 募集開始 11/30 締切り

わがまち日立部門、自由部門の2部門。15分以内です。

たくさんご応募ください。

10月、撮影会実施のため通常例会は行いません。

本号は2ページ立てにさせていただきました。あしからず。（豊田）